

ポール・キャベンディッシュ伯爵	エベリン・キャベンディッシュ夫人	ステファン・キャベンディッシュ子爵	タラ・キャベンディッシュ嬢
ボンソンビー伯爵セオドア	ボンソンビー伯爵夫人メイベル	ドーチェスター子爵エドワード	マーガレット・カーロウ婦人
ヨーク子爵ジョージ	ヨーク子爵夫人ベアトリス	アレン・ウォーターズ閣下	マリアンヌ・ウォーターズ閣下
アスキス伯爵ダニエル	アスキス伯爵夫人パトリシア	ピンバリー子爵チャールズ	エレノア・チェスタトン婦人
アスキス伯爵未亡人モード	チャールズ・フェアチャイルド殿	エリザベス・フェアチャイルド嬢	ジョン・アンブローズ殿
レジナルド・ホプキンス殿	フランシス・トロットウッド殿	ザカリー・エル殿	ウィリアム・ハウズ少佐
ウォルター・ダリンプル大佐	チャールズ・ワドワース準男爵卿	アリス・ビングリー嬢	アン・ハーロウ嬢
シャルロット・ウッズ閣下	メアリー・ラッセル嬢	サラ・ルイス嬢	ペネロープ・アトウッド嬢
ロッチデール伯爵夫人ベアトリス	セオドア・ロッジ殿	トーマス・マクミラン殿	トーマス・ハンドル殿
リチャード・ピーストン卿	ウィリアム・ホーク卿	ウォルター・タトル殿	スティープン・クラーク大佐
ウォルニー子爵チャールズ	ジェイムズ・ヘレフォード殿	ベントン子爵ロジャー	チャールズ・ホバート殿
キャサリン・エデン嬢	ダイアン・プロワーズ嬢	スーザン・ノリス	アン・フェアボーン嬢
アン・ホーキンス	アグネス・ハープステッド嬢	エリザベス・ジョーンズ嬢	ジョアナ・ギャンブル
マーガレット・ストウウェル嬢	フローレンス・オリバー嬢	アリソン・サッチャー婦人	エリザベス・パーキンス嬢
キャロライン・ウェスト嬢	ベントレー・チャーチル準男爵卿	モーティマー卿ウィリアム	ウィンストン・ネイピア殿
オヨス伯爵イシュトバーン	トーマス・ラルフ卿	リチャード・ブラノー準男爵卿	アラン・フルフォード準男爵卿

キャベンディッシュ家 借地の賃貸料の徴収。	キャベンディッシュ家 いずれか1つの利得を選ぶ。	キャベンディッシュ家 いずれか1つの利得を選ぶ。	キャベンディッシュ家 *愛慕ポーナス:この若き淑女と男性の威信ゲスト(🌸)が催事に同伴している場合のみ。	ボンソンビー家 借地の賃貸料の徴収。	ボンソンビー家 いずれか1つの利得を選ぶ。	ボンソンビー家 いずれか1つの利得を選ぶ。	ボンソンビー家 *愛慕ポーナス:この若き淑女と男性の威信ゲスト(🌸)が催事に同伴している場合のみ。
ヨーク家 借地の賃貸料の徴収。	ヨーク家 いずれか1つの利得を選ぶ。	ヨーク家 いずれか1つの利得を選ぶ。	ヨーク家 *愛慕ポーナス:この若き淑女と男性の威信ゲスト(🌸)が催事に同伴している場合のみ。	アスキス家 借地の賃貸料の徴収。	アスキス家 いずれか1つの利得を選ぶ。	アスキス家 いずれか1つの利得を選ぶ。	アスキス家 *愛慕ポーナス:この若き淑女と男性の威信ゲスト(🌸)が催事に同伴している場合のみ。
アスキス家 伯爵の母である伯爵未亡人は穏やかで立派な女性である。	フェアチャイルドの甥でありその財を継ぐ立場である熱血漢は、ダービーシャーで最も魅力的な独身だ。	優雅で魅力的なマーガレット・フェアチャイルドの姪は、洗練された音楽家でもある。	男前なアンブローズ氏の家は、財産はわずしかかないが、輝かしい家系を自慢にしている。	チェシャーの一流家系の六人兄弟の末弟である彼は、いつか教会に行く運命にあるが、今は狩りに精を出している。	颯爽としたトロットウッド氏に女性が夢中になったと言われているが、彼はいつでも名誉を魂に持っている。	庶民の出である法廷弁護士のエル氏は、その語りが魅力的だ。	著名な探検家である彼は、かつてザンベジ川を遡る探検隊を率いて成功に導いた。
名高き大佐は、ロウズリー出身者の中でも最も輝かしい戦いの英雄の一人だ。	高潔で親切なチャールズ卿は、悪しき財政状況にあった家の遺産を引き継いでいる。	ビングリー嬢は優雅な立ち居振る舞いと純粋な正確で誰からも愛されている。	アンは優しくて心広く、ホイストのプレイヤーとしても一流だ。	上品なシャルロットは、ドロンフィールド子爵ジョンの一人娘だ。	美しく洗練されたメアリー嬢は、ロッチデール伯爵オスカールの末娘だ。	サラ嬢は旅好きで一家言持ちだ。彼女はいつもお供を引き連れている。	優しく寛大なアトウッド嬢は陽気で親切だが、それ以外はあまり交流を持たない。
メアリー・ラッセルの母である伯爵夫人は、口うるさく粗野だと思われる。	悪名高く一家の恥である姉がいることでは、若きセオドアは礼節という物を学んでいる。	屈託のないスコットランド人である彼はダービーシャーに親戚がいて、グラスゴー郊外に大きな地所を持っている。	若きハンドル氏は見栄張り、ダービーシャーからロンドンへ逃げ出すことばかり考えている。	旅慣れたリチャード卿は音楽を愛し、勇敢さと面倒見の良さで知られている。	ウィリアム卿の家系は裕福で、インドに大きな投資を行い、幾度となくその所有地を訪ねている。	下劣 男前で年収八千ポンドの資産を継ぐタル氏だが、その生活は自堕落そのものだ。	貧困 英雄的な大佐だが、戦争での負傷による病弱な身体で、常には手助けが必要だ。
下劣 資産階級の彼は女性の評判を気にも留めず、色々ほめかしでは実現しないのを繰り返している。	悪党 ヘレフォード氏は頭は切れるが、金のために常に企てや博打に手を出している。	下劣 古くからの称号を持つ彼だが、彼の周りの若い女性の扱いは酷い噂ばかりだ。	嗜好き 女々しいチャールズは、父には多くのコネがあるが、一方で母は女優だ。	エデン嬢はホプトンのロバート・ワトソン閣下と婚約している。	プロワーズ嬢はサフォーク侯爵の姪で、馬を愛し、乗馬の名手だ。	米相続人 ノースカロライナ出身の彼女は、煙草による資産を相続する立場にある。	遊び人 アンのことを悪く言う人は少ないが、その軽率さが口の端に上ることはある。
米相続人 ホーキンス嬢はコネチカットの出身で、父親は鉄道を所有している。	貧困 糸紡ぎのハーブステッド嬢は悲しい人生を送ってきたが、明るい性格で愛されている。	遊び人 エリザベスの軽薄さは問題の種だが、彼女はハイクレスト伯爵の姪でもある。	米相続人 オハイオを故郷とするギャンブル嬢は、石鹸の大企業の財産の相続人だ。	貧困 未亡人のストウウェル嬢は友人の支援で生活している。彼女はとある公爵のことにあたる。	嗜好き オリバー嬢は愛らしさと謙虚さを醸し出しているが、無垢な噂話の出所と感じている者もいる。	貧困 アリソン婦人は無一文の身だが、ロンドン社交界に強力なコネを持っている。	嗜好き パーキンス嬢が不義理だと思ふものはまづないが、彼女に秘密を明かすのは賢い行いではない。
ウェスト嬢の財産は交易によるもので、彼女の抜け目ない管理の賜物だ。	下劣 ベントレー卿の財産は莫大だが、父の上品さをまったく引き継がず、奔放に女性を追いかけけている。	モーティマーはこのあたりで最高の狩猟を主催し、獺犬を駆り立てる機会を逃さないことで知られている。	富豪の相続者である若きネイピア氏は男前で、最近になってダービーシャーに引っ越してきた。	オヨス伯爵はこの地域では謎めいた人物だが、ロンドン社交界と深い繋がりがある。	トーマス卿は陽気だが不器用で馬鹿正直な人物だ。だが、周囲には慕われている。	リチャード卿は乗馬のエリートとみなされていて、いつも気ままに旅をしている。	高く評されているエドワード・フルフォード卿の長男のアラン卿は口数少なく、暗い雰囲気で有名だ。

エリザベス・シーフォース婦人 ベネロープ・ヒル嬢	エリーズ・ギルモア婦人 ピール子爵夫人エリザベス	ベアトリス・ボーナム嬢 アンソニー・コール少佐
ドミトリ・コンスタンチノフ伯爵 レジーナ・ウォッシュバーン閣下	アルバート・プランタジネット閣下 エリザベス・ヘイスティンクス婦人	マーシュフィールド卿テオ ド・ヴィトリ伯爵夫人アン＝マリー
アバナシー子爵夫人キャロライン ケリンチ伯爵トーマス	エリノア・パーマー婦人 ブルックス卿ジョン	タウンゼント子爵ピーター クロッサ子爵夫人ヘーゼル
ノールウッド伯爵夫人マデリーン アシュウッド子爵ケネス	ブリスペン子爵夫人マーガレット クレア伯爵未亡人レベッカ	ケント侯爵アリスティア アレクサンドラ・サフォーク婦人
ホルト伯爵未亡人アリス ロングフォード公爵リチャード	ヘイズルトン公爵キャロル コベントリー伯爵夫人メアリー	ソーンヒル侯爵アルバート イーストン侯爵夫人アグネス

上品な婦人は最も楽しい話し相手であり、偉大なる文学を情熱的に愛している。	ギルモア家はミッドランドのどこでも高い評価を受けている。	ベアトリスは、ヨークシャーのノースライディング出身で尊敬を集めているタールズ子爵の姪である。	上品なヒル嬢の家族はロンドンに住んでいて、そこでの社交界と深い繋がりがあ	子爵婦人はボウリングやローンテニスやクロッケーといった屋外活動を楽しむのが好きだ。	少佐は戦争の英雄だが、両脚を失ったことで多くの手助けや配慮が必要だ。
セントペテルスブルグ出身の伯爵はロンドン社交界と十年間関わっていた。ダービーシャーを訪れたのは狩りのためだ。	アルバートは間違いなくプランタジネット家の遠縁だ。何せ彼は出会う人毎にそれを語るのだから。	彼は陽気で、しばしば訪れる数多くの家族を溺愛している。	ハンプトン子爵の美しい娘は、才能あふれる芸術家で多くのコネを持っている。	旅を大いに好むエリザベス夫人は、裕福なヘイスティンクス伯爵の独身の娘の中でも最も年上だ。	ロンドン郊外に住む裕福なフランス貴族の妻は、これまでに世界中を旅してきている。
子爵婦人は家政婦に敵しく、バカな真似をする若者には容赦が無い。	ダービーシャーの地元では、エリノア夫人が最も社交的で幅広い人脈を持っていることは疑いのない事実だ。	子爵は優秀で名誉あるスポーツマンで、馬を狩りにインドまで出向いたこともある。	伯爵は熱心なスポーツマンで、狩りと乗馬のために地所から地所へと旅を続けている。	物静かでダービーシャーやその周辺に多くのコネを持ち、海外事業の成功にも恵まれている。	クロッサ子爵の妻は低い身分の出身だが寵愛を受けている。若い時に片足を失ったため、多くの手助けが必要だ。
伯爵夫人は慎ましい生活をしているがコネは多い。彼女はいつでも敬愛する召使いと共に旅をしている。	高慢な子爵夫人は多くのコネを持ち、シュロップシャーで最大の地主の家系の出身だ。	厳格な侯爵にはダービーシャーの家に嫁いだ最愛の姪がいる。しばしばこの地を訪れている。	政治的議論の達人で聡明な子爵は、書斎やビリヤード室での活発な議論を楽しんでいる。	病持ちのクレア伯爵未亡人は素晴らしいコネを持っているが、常に多くの手助けが必要だ。	サフォーク侯爵の目もくらむような美しい娘は、音楽家として素晴らしい腕を持っている。
極めて裕福な未亡人はインドで九年を過ごした。彼女は毒舌で気分屋だ。	公爵は大きな影響力を持ち、ワーウィック家と結婚した末息子を通じてダービーシャーにコネを持っている。	最年長の侯爵は、ダービーシャーに住むホルト伯爵未亡人と近しい関係にある。	ダービーシャーの住人の中でも最も裕福な公爵は、なだらかな丘や緑の郊外の景色を大切にしている。	誰もが愛する伯爵婦人は、巨大な影響力を持つコベントリー伯爵の妻だ。	ロンドン出身の侯爵夫人は有名人で、その評判には一分の隙も無い。

召使い ボーナス	召使い ボーナス	召使い ボーナス	召使い ボーナス	召使い ボーナス	召使い ボーナス
ゲスト ボーナス	ゲスト ボーナス	タイル ボーナス	タイル ボーナス	タイル ボーナス	タイル ボーナス
グループ ボーナス	グループ ボーナス	グループ ボーナス	グループ ボーナス	グループ ボーナス	グループ ボーナス
グループ ボーナス	グループ ボーナス	グループ ボーナス	グループ ボーナス	グループ ボーナス	グループ ボーナス
グループ ボーナス	グループ ボーナス	グループ ボーナス	グループ ボーナス	基幹 Essentials ボーナス	執務 Service ボーナス
敷地 Estate ボーナス	威信 Prestige ボーナス	スポーツ Sporting ボーナス	モニュメント ボーナス	評判 ボーナス	財産 ボーナス

タイル 1 枚につき タイル 1 枚につき	タイル 1 枚につき ゲスト 3 人につき	タイル 1 枚につき モニュメント 1 つにつき	タイル 1 枚につき
威信ゲスト 1 人につき	基本の召使い 1 人につき		

動物好きグループ 屋内グループ	執務グループ 紳士グループ	文学グループ 淑女グループ	威信グループ スポーツグループ	快樂主義グループ 自然グループ
--------------------	------------------	------------------	--------------------	--------------------

家族不可。				
副執事がいる。	侍従が 3 人いる。	侍女が 3 人いる。		
フランス式庭園 French Garden がある。	イギリス式庭園 English Garden がある。	大広間 State Room が ある。		
すべてのゲストを数え る(家族不可)。	侍従が 2 人と侍女が 2 人いる。	召使いが 10 人以上い る。	モニュメントや該当複 合タイルを含む。	モニュメントや該当複 合タイルを含む。
モニュメントや該当複 合タイルを含む。	モニュメントや該当複 合タイルを含む。	モニュメントや該当複 合タイルを含む。	驚異の部屋 Cabinet of Curiosities がある。	朝食室 Breakfast Room と 北食堂 North Dining Room がある。
喫煙室 Smoking Room と 応接室 Drawing Room が ある。	大書庫 Main Library と 北書庫 North Library が ある。	納屋 Barn と ブラシ室 Brushing Room が ある。	評判が上限に達してい る。	£1,200 以上所有し ている。
侍従、侍女、下男のみ を数える。	裏返って モニュメント面に なったタイルも数える。	生花部屋 Flower Room と 庭園 Garden がある。 (モニュメントの 庭園も可)	柵付き牧草地 Fenced Paddock と犬小屋 Kennels と 厩舎 Riding Stables がある。	
テニスコート Tennis Court と クリケット場 Cricket Field と クロケット場 Croquet Lawn がある。	温室 Conservatory と 生花部屋 Flower Room と 音楽部屋 Music Room が ある。	ビリヤード室 Billiard Room と犬小屋 Kennels と 驚異の部屋 Cabinet of Curiosities がある。	温室 Conservatory と 書庫 Library がある。	

※ Wessex 拡張

<p>ウェセックス子爵ジョン テランス・ホイットロー殿 アリス・バーストウ嬢 キャロル・ペンダーギャスト ハーウッド卿チャールズ</p>	<p>ウェセックス子爵夫人キャサリン ウィンストン・ハイワード閣下 アレクサンダー・ピンダー殿 ケネス・クロードレイ準男爵卿 ブリストル伯爵未亡人アン</p>	<p>ロバート・スミス閣下 レジナルド・バロウ大尉 チャールズ・ビートン閣下 アン・オーステン婦人 グレシャム卿ロジャー</p>	<p>アン・スミス閣下 アグネス・ダンスビー嬢 ベアトリス・ウィルトン嬢 ペンブローック伯爵夫人ルイーゼ エクセター伯爵未亡人ルシンダ</p>	
<p>ウェセックス家 借地の賃貸料の徴収。</p>	<p>ウェセックス家 いずれか1つの利得を選ぶ。</p>	<p>ウェセックス家 いずれか1つの利得を選ぶ。</p>	<p>ウェセックス家 *愛慕ボーナス:この若き淑女と男性の威信ゲスト(♣♣♣)が催事に同伴している場合のみ。</p>	<p>ホイットロー氏は頭脳明晰で、地主階級を常に守る立場として評判を得ている。</p>
<p>ハイワード子爵の三男であるウィンストンは義務を逃れ、日々をスポーツと社交で過ごしている。</p>	<p>大尉は兵隊八人だけでデリーの砦を丸一日守りきったことで有名だ。</p>	<p>ダンスビー嬢の家族はリチャード三世まで遡る家系でダービーシャーでの尊敬を受けている。</p>	<p>庶民であるバーストウ嬢は財力は限られているが、陽気な性格で好かれている。</p>	<p><u>貧困</u> ピンダー氏が財産を失った悲しい物語は、ダービーシャーなら誰でも知っている。</p>
<p>チャールズはハロウ子爵の三人兄弟の末弟で、小さな牧師館に行くことになっている。</p>	<p><u>嗜好</u> ベアトリスにとって地位だけが大事だが自分にはない。客は退屈そうな彼女をよく見かける。</p>	<p><u>米相続人</u> ボストン出身のペンダーギャスト嬢の家族は、東アジアの繊維業界を牛耳っている。</p>	<p>馬に情熱を注いでいるケネス卿は、ダービーシャーの中心いささかの地所の相続人だ。</p>	<p>アン婦人は大陸を愛し、行けるときならいつでも旅行に出て、中でもフランスは年に一度訪れる。</p>
<p>このいかめしい貴族はダービーシャーの中でも最も裕福な人物の一人で、いつでも来客を求めている。</p>	<p>陽気で知り合いの多い伯爵婦人は、風変わりなペンブローック伯爵の妻だ。</p>	<p>悲しき未亡人は悲劇の日々を耐えてきたが、それでもロンドン社交界とは深い関係を持っている。</p>	<p>変人の貴族は世界中の天然資源を集めていて、その情熱を披露したがつている。</p>	<p>この伯爵未亡人は、人生のほとんどを大使である夫と共に海外で過ごしてきた。</p>

※ Upstairs, Downstairs 拡張

ハワード伯爵ジェームズ ロジャー・ハスケル殿 ロザマンド・シンプソン嬢 セオドア・マーシュフィールド殿 カーライル・ブラッドワース卿 ヴィクトリア・ターナー夫人 ピーター・アウトワーリッジ準男爵卿 ハリエット・オット夫人 パーマー子爵夫人ユニス キャサリン・ジャックマール夫人	ハワード伯爵夫人ヴィクトリア トーマス・フレック閣下 アデレイド・ハウ嬢 アームストロング・ピュー殿 ヘンリー・フィッツロイ大尉 イワン・アンドレイヴィッチ・ナリシュキン男爵 リード伯爵未亡人アグネス ヘイル伯爵トビアス ヘイワース男爵夫人フィリップ	ウィンチェスター子爵トーマス オパディア・ピール殿 コンスタンス・スタッキー嬢 イザベラ・モンゴメリー閣下 マリアンヌ・ターナー夫人 マンクロフト卿アーチボールド グッドラッド男爵夫人ルクレティア ナイ子爵エドワード テトベリー侯爵アンブローズ	ダイアナ・スターク夫人 エレノア・ブラッシントン嬢 アンガス・カニング準男爵卿 コラリー・ポーター アン・ベネット閣下 チェトウィンド子爵クリスピ ヴィオレッタ・グリーンウエイ夫人 アーチャー卿クラレンス エリオット伯爵未亡人カーミラ
---	---	--	---

ハワード家 借地の賃貸料の徴収。	ハワード家 いずれか1つの利得を選ぶ。	ハワード家 いずれか1つの利得を選ぶ。	ハワード家 *愛慕ボーナス:この若き淑女と男性の威信ゲスト(♣♣♣)が催事に同伴している場合のみ。	小柄なハスケル氏は大陸での旅話を誇張して語りがちだ。	スタッフォードシャー子爵の三男の若きフレック氏は大物を狩るのが好きで、アフリカに二度訪れている。	マトロックの裕福な教区牧師の息子である若きオパディアは、父に倣って社交界に参加するのが好きなので。	エレノアは大きな尊敬を受けているヨークシャー家の七人の姉妹の下から二番目に好まれる。
父の膨大な書庫が気に入りに重度の愛書家のシンプソン嬢は、社交界にはあまり時間を費やしていない。	ハウ嬢は有名なウィリアム・ハウ子爵の曾孫にあたる。	親切で社交的なスタッキー嬢はバイクウエルの出身で、ホイストのパートナーとして引っ張りだこだ。	貧困 貧しく老いた準男爵は、十九世紀の不幸な首相の義兄弟にあたる。	マーシュフィールド伯爵の子息の末弟は、イギリス軍の歴史に情熱を注いでいる。	意固地 ウェールズの絵画インの小さな地所の後継者であるピュー氏は、いささか品位が嘆かわしい。	息を呑むような美しさのイザベラは、モンゴメリー伯爵と社交界の華であるスペイン人の妻マリアの一人娘だ。	米相続人 ボッター嬢はテキサスの農場経営者とサルーディーニャのグラマーな歌手の間の娘だ。
アシュボーン出身のカーライル卿は在外支店に勤めていて、しばしば南アフリカに旅している。	地元ダービー出身の熱血漢の彼は、アロー戦争での大沽砲台への勇敢な襲撃で知られている。	ケリンチ伯爵の美しい姪であるマリアンヌ夫人は双子で、才能あふれるハーブ奏者だ。	ベネット嬢は若い頃からの完璧なものでない方では評判を獲得している。	ケリンチ伯爵の美しい姪であるヴィクトリア夫人は双子で、大陸文化を愛している。	モスクワの貴族で旅行家のナリシュキン男爵はダービーシャーのなだらかな地形の美しさを理解している。	ダービー家の名誉ある息子である彼は、議会で激しい弁論で有名だ。	二年前に妻を亡くした礼儀正しい子爵は、裕福な未亡人ベイクウエルとのロマンスを噂されている。
ノーサンバーランドの地所の後継者のピーター卿は、チェスターフィールドのバンベリー邸によく泊まっている。	一八四二年に焼け落ちたリード邸は、尊敬を集める伯爵夫人から夫と子供を奪ってしまった。	男爵夫人は大陸への旅行を待ち望んでいるが、今はロンドン社交界をしばしば訪れることで満足している。	ヴィオレッタ夫人はケント侯爵のお気に入りの姪で、ダービーシャーの社交界の常連だ。	癩癩持ちで有名なノッティンガム出身の聖職者の妻であるハリエット夫人は、田舎風の庭園の愛好家だ。	ヨークシャー社交界で影響力の高いハイル伯爵は、母方の会計であるバイエルンに大きな興味を持っている。	子爵は初期刊本を集めていて、稀覯本を求めてヨーロッパの各地の首都を足繁く訪れている。	低い身分の商売の天才エリ・アーチャーの孫であるこの大袈裟な男は、自らの祖先の家系を蔑んでいる。
かつてのロシア総領事の妻である子爵夫人は、引退した今は若い頃を過ごした地に戻っている。	男爵夫人の大切な妹はパリジャンの商人に嫁ぎ、ヘイワース家がしばしばパリを訪れる口実となった。	バス地方のほとんどを有する侯爵は、情熱を注ぐフライフィッシングのためにしばしばロウズリーを訪れている。	若い頃は美人だった未亡人は、愛する夫が亡くなって以来引きこもっている。	フランドル地方の公爵の娘であるキャサリン夫人は、イーストン侯爵夫人を年に一度休日に訪れている。			

召使い ボーナス	召使い ボーナス	召使い ボーナス	召使い ボーナス	召使い ボーナス	召使い ボーナス	召使い ボーナス
召使い ボーナス	ゲスト ボーナス	ゲスト ボーナス	タイル ボーナス	タイル ボーナス	タイル ボーナス	グループ ボーナス
グループ ボーナス	グループ ボーナス	グループ ボーナス	グループ ボーナス	グループ ボーナス	グループ ボーナス	グループ ボーナス
グループ ボーナス	グループ ボーナス	基幹 Essentials ボーナス	執務 Service ボーナス	敷地 Estate ボーナス	威信 Prestige ボーナス	スポーツ Sporting ボーナス
モニュメント ボーナス	評判 ボーナス	財産 ボーナス	配置 ボーナス	配置 ボーナス		

タイル 1 枚につき タイル 1 枚につき 威信ゲスト 1 人につき	タイル 1 枚につき ゲスト 3 人につき 基本の召使い 2 人につき	タイル 1 枚につき モニュメント 1 つにつき	タイル 1 枚につき
---	--	-----------------------------	------------

動物好きグループ 屋内グループ	執務グループ 紳士グループ	文学グループ 淑女グループ	威信グループ スポーツグループ	快樂主義グループ 自然グループ
--------------------	------------------	------------------	--------------------	--------------------

家族不可。				
副執事がいる。	侍従が 3 人いる。	侍女が 3 人いる。	フランス式庭園 French Garden がある。	大広間 State Room がある。
すべてのゲストを数える (家族不可)。	召使いが 13 人以上いる。	驚異の部屋 Cabinet of Curiosities がある。	大書庫 Main Library と北書庫 North Library がある。	納屋 Barn とブラシ室 Brushing Room がある。
朝食室 Breakfast Room と北食堂 North Dining Room がある。	喫煙室 Smoking Room と応接室 Drawing Room がある。	モニュメントや該当複合タイルを含む。	モニュメントや該当複合タイルを含む。	モニュメントや該当複合タイルを含む。
モニュメントや該当複合タイルを含む。	モニュメントや該当複合タイルを含む。	評判が上限に達している。	£1,200 以上所有している。	
執事、家政婦長、副執事は数えない。	Upstairs, Downstairs 拡張のすべての召使いがいる。	男性の召使いがすべてしている。	女性の召使いがすべてしている。	裏返ってモニュメント面になったタイルも数える。
生花部屋 Flower Room と庭園 Garden がある (モニュメントの庭園も可)	柵付き牧草地 Fenced Paddock と犬小屋 Kennels と厩舎 Riding Stables がある。	テニスコート Tennis Court とクリケット場 Cricket Field とクロッケター場 Croquet Lawn がある。	温室 Conservatory と生花部屋 Flower Room と音楽部屋 Music Room がある。	ビリヤード室 Billiard Room と犬小屋 Kennels と驚異の部屋 Cabinet of Curiosities がある。
温室 Conservatory と書庫 Library がある。	いずれかのカテゴリの改築タイルが 5 枚以上ある。	すべてのカテゴリに改築タイルが 3 枚以上ある。		